



田口理穂 \* ドイツの工コあれこれ No. 21

## 思い出のハノーファーエキスポから20年

ハノーファーで「人間、自然、技術」をテーマにしたエキスポ2000（世界万国博覧会）が開催されてから、早20年が経った。

この万博は既存の見本市会場を利用して2000年6～10月の5ヶ月間開かれ、環境破壊をしないことから環境エキスポともいわれた。プラスチックや缶などの容器包装材を処理するグリューネブントガリサイクルをテーマにした大きなパビリオンを構えていたのも印象深い。

ハノーファーでは万博開催について1980年代から激しい議論が行われ、ごみ増加や交通渋滞、大気汚染、都市計画が憂慮された。最終的に1990年に市民投票が行われ、僅差で賛成派が勝った。投票に法的効力はなかったが、開催に向けての墨付きとなつた。

会場160万m<sup>2</sup>のうち、130万m<sup>2</sup>は既存の見本市会場を利用した。万博開催の年、見本市業務は会期の前後にずらして実施された。

万博の総工費は35億マルク（2100億円）で、4000万人の来場者を見込んでいたが、結局1810万人に止まり、11億マルク（660億円）の赤字を計上した。赤字となったため日本では「失敗だ」と大きく報道され、反対に2005年の愛知万博は「黒字で成功」とされた。しかし、物事はそう単純に計れるもの

だろうか。20年後の現場を訪れてみた。

確かに放置されているパビリオンや、空き地のままの所もある。しかし見本市は順調に営業を続けており（今はコロナで苦戦しているが）、他の建物も事業所や大学、緑地として活用されている。

見本市の東側はエキスポプラザと名付けられ、ITとメディアの拠点となっている。ドイツ館は2015年にハノーファー市が買い取り、最大430人の難民が生活していた。

ベルギー館は高級レストランを備えたイベント会場となり、フランス館と郵便ボックス館はBMWのショールームである。教会組織の建物は、芸術や情報学に強い州立ハノーファー専科大学の校舎となり、4000人が学ぶ。

行政は万博をきっかけに、観光客と市民にとって魅力的な街づくりを目指した。例えばインフラ整備。万博の時に中央駅は大幅改修され、新幹線（ICE）が発着する駅も新設された。路面電車の新たな路線も施設され、バス路線も増やしたこと、今に至って日常的な市民の足となり、見本市開催中の渋滞緩和にも役立っている。

万博会場近辺では、住宅地や事業所団地の開発が行われた。クロンスベルク地区では当時最新の省エネ住宅や、社会的弱者用住宅など約3000世帯分が造成された。コミュニティを大事に



当時大人気だったオランダ館。今は廃墟に。

しつつ、環境や社会性に配慮する住宅地として先進的な試みだった。

市環境教育施設である学校生物センターも大幅改修し、世界各国から教育関係者が訪れた。このように万博をきっかけとした直接投資は40億ユーロ（5200億円）、インフラ整備や雇用拡大、消費促進など経済効果は70億ユーロ（8400億円）という。

万博の名残りは今でも街のあちこちにあり、当時を懐かしく思い出す市民も多い。万博の収支は、金銭だけでは計れない。ハノーファー市民の90%以上が生活に満足しているというアンケート結果があるが、万博効果もあるかもしれない。ごみかんの江川さんや吉崎さんと出会ったのも万博を含むドイツ視察だったので、個人的にも懐かしい。あの視察は本当に楽しかったし、学びも多かった。ごみかんとの縁をもたらしてくれた万博に感謝している。

ごみかんドイツ特派員 田口 理穂

### AKIRA の 成長記録

8月末から新学年が始まり、明は8年生になりました。3年ぶりに担任の先生が変わり、初めて男の先生に。英語と仏語が担当で、教え方がうまく人気があるので明

も大喜び。しかし先生は初日から2日間、病欠しました。

他学年とは交流禁止ですが、学年内ならよくて、サッカーをしたり以前と同じ風景が見られます。

ドイツでは列車や小売店でのマスク着用が義務化され、守らないと罰金ですが、マスクになじみがなく抵抗がある人が多いようです。「病気のためマスク着用が適さない」という医者の証明書があればマスクなしも許されるた

め、本当は病気でないのに子どものために証明書をもらう親が増えており、問題になっています。「コロナは嘘だ」というデモもときどきあります。

コロナはバカンス帰りの人の感染が確認されるなど、再び増加傾向にあります。実は明も友達一家の別荘へ3週間連れて行ってもらいました。南フランスの田舎でサイクリングをし、川や海で遊び自然を満喫したようです。



ところが戻ってくる前日にパリが危険区域（2週間監禁またはPCR検査必須）に指定され焦りましたが、南フランスは大丈夫でした。ちなみにドイツでは感染者に対する差別はありません。個人主義であり、我慢を強いられない社会だから他人に寛容にいられるのかもしれません。